

第一号議案

事業報告書

第十期

自 平成21年4月 1日

至 平成22年3月31日

社団法人 大阪府剣道連盟

平成 2 1 年度事業報告

はじめに

日本の政局は民主、自民二大政党への国民の失望や不満がつのり、支持率がともに大きく落ち込んでおり、経済、外交など多方面で深い閉塞感から逃れられない昨今である。そのような社会情勢の中、社団法人大阪府剣道連盟は大阪府全域における剣道界を統括し代表する組織として、剣道の普及振興を図り、府民の健全な心身の育成に資することを通じ、元気で明るい社会の発展に貢献することを目指して、21年度事業計画にそって以下の諸事業を行い、当初の目標は達成できた。

しかしながら、その活動の結果、昨年度以上に歳出が歳入を上回るようになった。増収を目指すか、事業の縮小を図るかの選択を迫られる事態となっている。

本連盟は、平成21年度事業計画に基づき、各種事業を実施した。

1. 会員の入退会状況

本年度の入会は3団体あり、退会は11団体で、本年度末の正会員数は525団体と8団体減少した。

2. 定款第3条の「目的」に則り、平成21年度事業を以下のとおり実施した。

3. 定款第4条(2) 「講習会の開催及び指導者の育成」

真の剣道精神と正しい高度な技術を兼ね備えた剣道人の育成を目指すと共に、各層への剣道の普及発展を図る為、当連盟が主催する講習会を、審判4回、日本剣道形4回、指導法4回、女子剣道の普及のための講習会を3回(4回実施する予定であったが、5月実施分がインフルエンザ感染防止のため中止となった)、合計で15回開催した。前年より5回減少した。

本年4月より新制度で実施されることとなった級位審査規則の運用及び級位審査会の運営にあたり、その研修会を2月に開催し、多くの地域指導者の参加のもと、活発に意見が交換され、その細部にわたり検討された。

地区・職域における講習会には、講師手当の一部を補助して開催を促進し、審判7回、日本剣道形10回、指導法2回、合計で19回開催し、中体連、高体連、学生連盟、官公署は6回開催した。

剣道では、段位・級位審査員、審判員および称号受審者には年2回の受講を義務づけている。居合道では、特別強化練習会・夏季講習会など9回講習会を行い、杖道では、7回の主要講習会に加えて10回の月例研修会を開催した。

4. 定款第4条(3) 「各種大会の開催」

本連盟主催分・・・ 6月14日(日)第46回大阪杖道大会
6月20日(土)第42回大阪府少年剣道大会

- 7月12日(日) 第56回大阪府剣道優勝大会
- 9月20日(日) 第4回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会
- 10月10日(土) 第39回居合道段別大会
- 11月1日(日) 第6回大阪府女子剣道優勝大会
- 11月22日(日) 第32回関西杖道優勝大会
- 12月6日(日) 第51回大阪居合道大会

恒例となった全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会も、第4回大会を無事に終えることができた。本大会は、文部科学省・総務省主唱による剣道普及発展と地域の再生を促進するため、(財)地域活性化センターからの助成を得て、大阪市とともに開催している大会であり、回を重ねるごとに盛大になっており、ほぼ全都道府県が参加した。

- 本連盟主管分・・・
- 4月29日(祝) 第57回全日本都道府県対抗剣道優勝大会
 - 8月16日(日) 第64回国体 近畿ブロック大会
 - 11月8日(日) 大阪市長杯第53回市民剣道大会
(5月実施予定であったが、インフルエンザ感染防止のため11月に延期して行った。)

5. 定款第4条(4) 「府外剣道大会等への役員、選手および受講者等の派遣」

次のとおり派遣した。

- 4月4日(土)～5日(日) 第44回剣道西日本中央講習会 神戸市
伊藤、西川、太田
- 4月19日(日) 第7回全日本選抜剣道八段優勝大会 名古屋市
石田、石塚、小坂、船津
- 5月2日(土)～5日(祝) 第105回全日本剣道演武大会 京都市 参加者376名
- 5月20日(水)～24日(日) 第47回剣道中堅剣士講習会 奈良市
愛甲、江藤、矢野
- 7月18日(土)～19日(日) 第9回近畿剣道連盟夏季講習 奈良市
奥園、島野大、石塚、坂野、伊藤、松原、河内
- 7月18日(土) 第1回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会 東京都
坂田、間吾、藤山、大辻、西田、神崎
- 8月16日(日) 第64回国体 近畿ブロック大会 大阪市
少年男・女、成年女子 13名
- 8月28日(金)～30日(日) 第14回世界剣道選手権大会 ブラジル
役員：宮坂、 審判員：小坂、船津、 女子監督：神崎、 女子コーチ：石田
選手：寺本、木和田、近藤、大辻、山本
- 9月5日(土)～7日(月) 第22回全国健康福祉祭北海道大会 札幌市
大阪市チーム：永田、藤澤、大泉、杉元、徳澄、村岡

大阪府チーム：小川、徳岡、河村、右田、服部、廣田
堺市チーム：神宮、藤澤、奥村、藤田、鈴木、関

- 9月13日(日) 第55回全日本東西対抗剣道大会 越谷市
木和田、神崎、山本雅、石田健、山本真、石田真
- 9月27日(日) 第48回全日本女子剣道選手権大会 藤枝市
片淵、木村
- 10月 3日(土)～ 5日(月) 第64回国民体育大会 新潟県長岡市
少年男・女、成年男・女 計4チーム
- 11月 3日(祝) 第57回全日本剣道選手権大会 東京都
寺本、松本、大石

6. 定款第4条(5) 「称号および段級位の審査ならびに段級位の授与」

段位審査会は、剣道6回、居合道2回、杖道2回実施した。剣道の受審者数は6,445名で、前年より10.5%増加した。また、居合道は減少となったが、杖道は増加した。

7. 定款第4条(6) 「功労者の表彰」

- ①平成21年度 全剣連 剣道功労賞 園田 政治
- ②平成21年度 全剣連 剣道有功賞 原 直人
- ③範士受称 剣道 石塚 美文
- ④八段昇段 剣道 伊藤 壽 佐藤 誠 新屋 誠
杖道 森本訓史 池原 一義

⑤平成21年度 全剣連 少年剣道教育奨励賞

- | | | |
|-------|-------------|----------|
| 三島地区 | 島本剣生会 | 南高槻剣真会 |
| 大阪北地区 | 三国武道会剣道部 | 聖道館 |
| 大阪南地区 | 弁天剣友会少年剣道部 | 竹の子剣道クラブ |
| 北河内地区 | 寝屋川市 三井剣道教室 | 牧野明剣館 |
| 南河内地区 | 大阪狭山北剣友会 | 太子会 |
| 中河内地区 | 美陵剣友会 | 小笠原体育教室 |
| 堺地区 | 庭代剣友会 | 深井剣友会 |
| 泉州地区 | 熊取剣友会 | 淡輪剣友会 |

⑥平成21年度 大阪府 生涯現役スポーツ賞

金賞：柳生 秀男 銀賞：畠山 左千夫、笹月 繁 団体賞：心技館

⑦第57回全日本都道府県対抗剣道優勝大会 優勝

監督：緒方 勇二

選手：東幸次郎、後藤武士、滝崎亮一、久保元樹、寺本将司、窪田圭太郎、山本雅彦

⑧平成21年度全国高等学校総合体育大会剣道大会

女子個人の部 優勝 前田 紫帆
(PL学園高等学校)

⑨第14回世界剣道選手権大会

男子個人の部 優勝 寺本 将司
男子団体の部 優勝 寺本・木和田
女子団体の部 優勝 山本・近藤・大辻

⑩平成21年度第57回全国警察剣道大会 1部 優勝 大阪府警察

監督：戸高静男

選手：寺本将司、脇岡明洋、松本誠、木和田大起、古川耕輔、榎田康太、
萩原寿矢、大石寛之、升田良

8. 定款第4条(7) 「その他前条の目的を達成するために必要な事業」

①普及活動の推進

今後の個人会費制の導入及び新公益法人への移行をひかえ、普及委員(地区担当理事)を中核として9地区毎に地区委員会組織を強化し、地区内の普及活動を活発に推進している。

◇地区および職域講習会の開催

各地区・職域における指導層のレベルアップを図り、正しい剣道普及と活力ある指導者の育成を目指して、ほぼ例年通り19回開催された。

◇地区大会の開催

各地区および職域等での剣道大会開催を後援、援助し、その開催数30回であった。

◇地区昇級審査会の開催

各地区で小中学生対象に、ほぼ例年どおり62回の昇級審査会を開催した。

本年4月からは、新制度下で開催されている。

◇予算措置

9地区に対しては地区活動費を、居合道、杖道、中体連、高体連、学生剣連、社会人剣連、官公署、大剣協等に対しては、補助金を各年度予算に計上し、継続して支出し、援助を行っている。

◇報道促進

ホームページをより充実させ、迅速な情報提供に努めている。また、新聞・通信社に、当連盟の開催する大会、予選会等の記事掲載のため、積極的に資料・写真等を提供している。

②安全対策

安全講習会

剣道を行うにあたって、安全対策が最重要課題である。最近AEDが多くの場所に設置されているが、その正しい使用方法、また、緊急時の処置など救急救命の研修が重要であると考え、指導法講習会と併せて、2回実施した。

保険加入の徹底

◇行事傷害保険

会員に傷害保険の重要さの理解を求め、大剣連主催行事に際しては、行事傷害保険加入を完全実施している。また新しく、熱中症・脳梗塞・食中毒なども適用範囲となり、安心・安全に行事を開催している。

◇スポーツ安全保険

会員団体の日常稽古における傷害などの補償確保については、契約者を（社）大阪府剣道連盟会長とした加入申込書と説明書を全会員団体に送付し、加入を促している。その加入数は149団体 3,498名と増加傾向にある。しかしながら、なお一層の加入者数の増加に努めたい。現在、団体会員毎に保険加入状況の詳細（加入種別等）の調査を行っている。

傷害発生傾向

事故・傷害の保険適用件数は54件であり、安全第一・事故防止に努力せねばならない。重大事故・重大傷害の発生は報告されていないが、四肢の捻挫や骨折が多い。また、転倒・稽古者同士の接触による事故・傷害が数多く報告されており、稽古の方法について一考の必要があるのではないかと思われる。また、級位審査に「木刀による剣道基本技稽古法」が取り入れられた関係上、より安全性を重視するよう、関係者に注意を促している。

9. 事業活動組織

事業活動は、総務、綱紀、審査、審判、事業、普及、強化、居合道、杖道の9専門委員会が中心となって運営を行った。総務委員会の中に安全対策委員会とIT専門委員会を、普及委員会の中に少年部を、また、強化委員会の中には一般男子、女子部、高体連、中体連のグループを設置し、それぞれの領域で活動を行った。特に、今後の事業実施にあたり、当連盟の事務全般にわたるIT化は重要な問題であり、IT委員会に専門家をメンバーに加え、精力的に検討を行っている。

10. 今後の課題

◇中学校における武道必修化

中学校における武道必修化が平成24年度より実施されることに伴い、既に試験的に実施している中学校もあり、今後とも普及委員（地区担当理事）を中心に剣道が採用されるよう教育委員会及び各中学校に継続的に積極的な働きかけを行う。

◇安全講習会

平成21年度に、救急救命講習会を指導法講習会と併せて2回実施した。最近、公共施設などに多く設置されているAEDの使用体験などができるよう、平成22年度以降もこれを継続していく必要があると考える。また、近年特に問題となっている「スポーツ事故の予防と対策、責任の所在」などの課題について専門講師を招いての研修会を6月に開催する。

◇新公益法人移行への準備

新公益法人への移行は、社会的にも大きな問題であり、当連盟においても組織形態・運営及び税法上の観点からも見直しを行い、申請に向けて鋭意準備中である。

新公益法人の認可を受けるため、定款・規約作り、また、社団法人としての会員制のあり方、財政面の確立のため、委員会等で細部にわたり引き続き綿密に検討を継続する。

以上

平成21年度事業報告 資料

I 剣道

(1) 講習会の開催および指導者の育成

次のとおり、講習会、稽古会等を実施した。

講習会名称		実施回数	指導者数	参加者数
連盟主催	審判講習会	4回	12名	143名
	日本剣道形講習会	4回	12名	212名
	指導法講習会	4回	56名	245名
	女子稽古会・講習会	3回	12名	96名
	計	15回	92名	696名
地区職域	審判講習会	10回	22名	590名
	日本剣道形講習会	11回	33名	653名
	指導法講習会	4回	15名	216名
	計	25回	70名	1,459名
合計		40回	162名	2,155名

4月12日(日) 全日本剣道連盟後援講習会 剣道指導法 於大阪中央体育館
全剣連派遣講師：宮川英俊範士 参加：47名

9月5日(土)、平成22年2月20日(土) 救急救命講習会 於大阪中央体育館
参加：延83名

(2) 各種大会の開催

6月20日(土) 第42回大阪府少年剣道大会 於はびきのコロセアム
優秀チーム 参加：216チーム
763名
高学年：穴師剣道会、済美館剣道、門真市剣友会
低学年：城東警察少年剣友会、穴師剣道会、小曾根剣友会

7月12日(日) 第56回大阪府剣道優勝大会 於大阪中央体育館
優勝 男子一般 パナソニック電気(株)本社 参加：219チーム
女子一般 大阪剣道協会 1,086名
高校男子 清風高等学校

9月20日(日) 第4回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会(大阪市、大剣連主催)
於舞洲アリーナ

11月8日(日) 大阪市長杯第53回市民剣道大会 (大阪市主催、大剣連主管)
優勝 男子の部 (株)ヤマガタ 於浪速スポーツセンター
女子の部 医療法人錦秀会 参加：69チーム
364名

11月 1日(日) 第6回大阪府女子剣道優勝大会 於大阪市中央体育館
 個人戦の部 優勝 一部：平山 二部：紀田 三部：前田 参加：164名
 団体戦の部 優勝 一部：大阪剣道協会B 二部：春風会A 参加：52チーム
 168名

上記のほかに、大阪学生剣道連盟、高体連、中体連、大剣協、大阪社会人剣連、大阪官公署剣連等の各種大会について、後援を行った。

(3) 各種予選会の開催

4月19日(日) 第1回全日本都道府県対抗女子剣道大会・大阪府予選 於修道館
 代表：間吾、藤山、大辻、西田、神崎 参加：54名

5月31日(日) 第64回国民体育大会・成年の部・大阪府予選 於修道館
 代表：(男子) 大城戸、寺本、佐藤、計盛、岩堀 参加：118名
 (女子) 山本、甲斐、石田

6月 6日(土) 第22回全国健康福祉祭北海道・札幌大会・大阪府下選考会 於大阪市中央体育館
 代表：大阪市チーム：永田、藤澤、大泉、杉元、徳澄、村岡 参加：30名
 大阪府チーム：小川、徳岡、河村、右田、服部、廣田
 堺市チーム：神宮、藤澤、奥村、藤田、鈴木、関

7月 4日(土) 第48回全日本女子剣道選手権大会・大阪府予選 於修道館
 代表：片淵、木村 参加：31名

9月 6日(日) 第57回全日本剣道選手権大会・大阪府予選 於舞洲アリーナ
 代表：寺本、松本、大石 参加：65名

平成22年2月21日(日) 第58回全日本都道府県対抗剣道優勝大会・府予選 於修道館
 代表：大浦、吉村、田中、久保、寺本、窪田、山本 参加：193名

(4) 審査会

6月28日(日) 浪速スポーツセンター
 7月26日(日) 高槻市総合体育館
 10月11日(日) 大阪市中央体育館
 11月29日(日) 富田林市民総合体育館
 平成22年 1月24日(日) 大阪市中央体育館
 3月22日(祝) 大阪市中央体育館

	初 段	二 段	三 段	四 段	五 段	合 計	前 年 比	
受審者数	2,810	2,090	712	463	370	6,445	+612	+10.5%
(うち女性)	658	501	179	102	65	1,505	+131	+9.5%
合格者数	2,149	1,354	384	184	145	4,216	+267	+6.8%
(うち女性)	492	296	88	19	16	911	+34	+3.9%

参考 (称号および六段以上)

	六 段	七 段	八 段	錬士	教士	範士	合 計	前 年 比	
受審者数	590	454	194	30	14	—	1,282	+25	+ 2%
合格者数	59	35	3	27	14	1	139	+11	+ 8.6%

(※合格者数には、再受審者を含む)

(5) その他の事業

平成 22 年 2 月 1 1 日 (祝) 第 1 4 回大阪武道祭 演武 於大阪中央体育館
参加：第 4 回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会小学生チーム 1 2 名及び指導者 4 名

全剣連主催による次の講習会を主管した。

7 月 10 日 (金) ~12 日(日) 第 3 1 回社会体育指導員養成講習会 (中級)
於舞洲アリーナ 参加：4 3 名

平成 22 年 3 月 5 日(金)~ 7 日(日) 第 1 2 回社会体育指導員養成講習会 (上級)
於修道館 参加：2 4 名

Ⅱ 居 合 道

(1) 講習会の開催および指導者の育成

4月 5日 (日) 第1回特別強化練習会	於修道館	参加104名
6月13日 (日) 第2回特別強化練習会	於修道館	参加114名
8月 1日 (土) 夏季居合道講習会	於東淀川体育館	参加187名
9月21日 (祝) 全剣連伝達講習会	於府立体育会館	参加150名
平成22年1月16日 (日) 新年合同稽古会	於府立体育会館	参加101名
2月 7日 (日) 高段者特別錬成会 (無外流)	於無外流堺道場	参加 24名
2月11日 (祝) 高段者特別錬成会 (英信流)	於修道館	参加 44名
2月13日 (土) 第3回特別強化練習会	於府立体育会館	参加108名
2月21日 (日) 春季居合道講習会	於東淀川体育館	参加198名

(2) 各種大会の開催

10月10日 (土) 第39回居合道段別大会	於修道館	参加205名
12月 6日 (日) 第51回大阪居合道大会	於舞洲アリーナ	参加1,250名

(3) 予選会の開催

11月 1日 (日) 第51回大阪居合道大会・大阪府予選会	於修道館	参加197名
-------------------------------	------	--------

(4) 審査会

8月23日 (日) 夏季居合道審査会	於修道館
平成22年3月 6日 (土) 春季居合道審査会	於府立体育会館

	初段	二段	三段	四段	五段	合計	前年比
受審者数	27	31	24	24	10	116	△58名
合格者数	26	27	23	22	6	104	△38名

	六段	七段	八段	錬士	教士	範士	合計	前年比
受審者数	15	6	5	4	3	—	33	△8名
合格者数	1	2	0	4	3	0	10	△4名

(5) 全剣連関係、その他の事業報告

5月 2日 (土) 第105回全日本剣道演武大会	京都市	参加74名
5月 3日 (日) 審査会	京都市	
7月10日 (金) 審査会	高知県	
7月11日 (土) ~ 12日 (日) 全剣連地区講習会	高知県	参加56名
9月12日 (土) ~ 13日 (日) 全剣連中央講習会	京都市	
10月24日 (土) 第44回全日本居合道大会	長崎県島原市	参加18名
11月13日 (金) 審査会	東京都	
平成22年2月11日 (祝) 第14回大阪武道祭 演武	於大阪市中央体育館	
	参加：中野八郎 — 浅野邦雄	
	山内福三郎 — 久保重視	

Ⅲ 杖 道

(1) 講習会の開催および指導者の育成

4月 5日 (日) 春季講習会	於凸版印刷体育館	参加63名
6月 7日 (日) 審判講習会	於凸版印刷体育館	参加59名
7月 5日 (日) 伝達講習会	於凸版印刷体育館	参加62名
9月 6日 (日) 強化錬成会	於凸版印刷体育館	参加45名
10月 4日 (日) 強化錬成会・審判講習会	於凸版印刷体育館	参加55名
10月24日 (日) 秋季講習会	於大阪市中央体育館	参加69名
4月～3月 杖道月例研修会	於凸版印刷体育館 他	10回開催

(2) 各種大会の開催

6月14日 (日) 第45回大阪杖道大会	於川西市総合体育館	参加135名
7月12日 (日) 第56回大阪府剣道優勝大会	於大阪市中央体育館	
演武 全日本剣道連盟杖道形	森本訓史	— 池原一義
一心流鎖鎌術	鹿島 晃	— 坂上 亨
一角流十手術	石河和彦	— 近藤眞佐雄
内田流短杖術	古谷重勝	— 橘高良和
11月22日 (日) 第32回関西杖道優勝大会	於川西市総合体育館	参加136名

(3) 審査会

4月12日 (日) 於修道館
11月15日 (日) 於修道館

	初段	二段	三段	四段	五段	合計	前年比
受審者数	28	21	16	18	11	94	+24名
合格者数	24	15	10	13	3	63	+2名

	六段	七段	八段	錬士	教士	範士	合計	前年比
受審者数	2	3	4	3	0	—	12	△6名
合格者数	2	0	2	3	0	0	7	±0名

(※合格者数には、再受審者を含む)

(4) 全剣連関係、その他の事業報告

5月 2日 (土) 第105回全日本剣道演武大会	京都市	参加14名
6月20日 (土)～21日 (日) 第18回全剣連杖道中央講習会	勝浦市	参加2名
8月22日 (土)～23日 (日) 全剣連杖道地区講習会	札幌市	参加17名
10月18日 (日) 第36回全日本杖道大会	横須賀市	参加35名
平成22年1月16日 (土)～17日 (日) 全剣連杖道地区講習会	東京都	参加15名
2月11日 (祝) 第14回大阪武道祭 演武	於大阪市中央体育館	
	参加：森本訓史 — 石河和彦	
	鹿島 晃 — 坂上 亨	

これらの他、普及・振興のために各地・各大会で演武活動に力を注いだ。